

奥田一重先生と行く第76回正倉院展と 中将姫伝説の寺を巡る 奈良2日間



「旅のお勧め」

正倉院展が毎年秋に公開されるようになってから今年で76年目を迎えます。第2次大戦に敗れた翌年の昭和21年、まだ災禍が大きく残っている中での開催でした。そこに15万人を超える人びとが押し寄せたといえます。それから75年間、様々な出来事があった中で正倉院展が途切れることなく続いてきたのは何故でしょうか。それは関係者の努力と共に、なによりも多くの人々が思うのは、宝物の中にある古代の人々の心と技と息づかいが、私達に宝物を通じて語りかけてくるからではないでしょうか。我々の祖先である奈良時代の人々の物語と、1300年の時を超えて、宝物を介して会話ができる楽しみがあるからだと思えます。

さて、今年の57点の正倉院宝物はどのような物語を我々に語りかけてくるのでしょうか。翌日2日目は、中将姫伝説を求めて奈良町の寺の融通寺・誕生寺・飛鳥の寺の當麻寺などを巡ります。中将姫は、奈良時代の藤原豊成の娘といわれています。継母の冷たい仕打ちに出家し、當麻寺で尼となります。そこで一人の美しい尼僧と比丘尼に出会い、蓮の糸で曼陀羅を織ります。その2人は阿彌陀如来と観音菩薩でした。

その他に奈良市の仏像写真家の入江泰吉美術館、新薬師寺の12神将、安倍文珠院の日本最大の文殊菩薩などを巡ります。

奥田 一重

【講師 奥田一重先生プロフィール】

奈良市観光大使
元NHK正倉院プロジェクト取材班
統括プロデューサー、
日本記者クラブ会員
NHK文化センター
千葉教室、柏教室にて正倉院に関する講座の講師を務める。



●正倉院に関する著作
「ドキュメント正倉院」日本放送出版協会 / 「正倉院の宝物・ビデオシリーズ」NHKエンタープライズ

日付	スケジュール
1 11/06 (水)	ホテル日航奈良 (12:45集合) ホテルにて 奥田先生による「正倉院展見学の事前講座」 (13:00~13:50) ホテル --- (公共路線バス) --- 奈良国立博物館 「正倉院展」各自鑑賞*特別展 (15:00~) その後自由行動 ※夕食は各自にて (ご夕食オプションあり) ホテル日航奈良 (泊)
2 11/07 (木)	ホテル(8:30発) ---- 新薬師寺(見学) ---- 入江泰吉記念写真美術館(見学) ---- ならまち散策(徳融寺・誕生寺) ---- 依水園(昼食) --- 當麻寺(奥院)(見学) --- 石光寺(見学) ---- 阿部文珠院(見学) ---- JR・近鉄桜井駅前 (16:30頃 解散予定)

※上記日程は現地事情・交通事情等により変更になる場合もございます。(見学場所など)

募集要項

■旅行期間:2024年11月06日(水)~11月07日(木) 1泊2日

■ご旅行代金: **2名1部屋利用:73,800円/1名1部屋利用:79,800円**

*上記料金は現地費用となり集合解散場所までの費用(自宅→JR奈良駅/JR・近鉄桜井駅→自宅)までの移動交通費は含まれておりません。

■旅行代金に含まれるもの:ホテル1泊・朝食1回・昼食1回・専用バス代(2日目)・講師費用(講師料/旅行代/食事代)・添乗員費用

■募集人数:25名(最少催行人数15名)

■募集締切日:2024年10月08日(火)*定員になり次第締め切りとなります。

■添乗員:1名同行致します。(集合地から解散場所まで)

■宿泊先:ホテル日航奈良 *奈良を代表するホテル、JR奈良駅西口直結(徒歩3分)の好アクセスで便利な立地です。大浴場もあります。

■利用予定バス会社:奈良交通 (貸し切り専用バス=2日目のみ)

■集合解散場所:ホテル日航奈良集合(12:45) / JR・近鉄桜井駅解散(16:30頃)

*最小催行人数に達し催行決定となりましたらお客様にご連絡させていただきます。ツアー催行決定後にお客様ご自身にて集合解散場所までの交通手配をお願いいたします。

想定列車 往路:新幹線のぞみ63号 東京駅08:48発→京都駅11:00着/JRみやこ路快速 奈良行き 京都駅11:37発→JR奈良駅12:21着

(参考) 復路:近鉄桜井駅16:49発→大和八木駅16:53着/17:20発→京都駅18:12着/新幹線のぞみ44号 京都駅18:21発→東京駅20:33着

その他JR・新幹線スケジュール等不明な点などございましたら、どうぞお気軽にお問合せください。手配手数料(¥1,100)がかかりますが弊社にてお手配することも可能です。

第76回正倉院展

今年の正倉院展の主な宝物を用途別に見てみます。調度品、装飾品が多く出品されています。

・調度品:

(鏡)花鳥背円鏡。黄金瑠璃金飾細背十二稜鏡。
(箱)漆皮箱。緑地彩絵箱。沈香木画箱。漆皮八角鏡箱。赤漆柳箱(敷物)紫地(むらさきじ)鳳形(おとりかた)錦御軾(にしきのおんしよく)。花氈(屏風)鹿草木夾纒屏風(几)彩絵二足几

・装飾品:

紅牙撥纏尺。黄楊(つげ)木(きの)把(つか)鞞(さや)刀子(とうす)。碧(ハキ)瑠璃(るり)小尺(しょうしゃく)。深緑(しんみどり)瑠璃(るり)魚形(うおがた)

・伎楽面:

醉胡王。醉胡従。迦楼羅。

・正倉院古文書:延暦6年正倉院曝涼解。大和国財政決算報告。

・仏具:

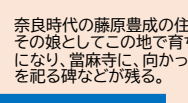
白布幡。銀盤。瑠璃八角杖。など。

新薬師寺



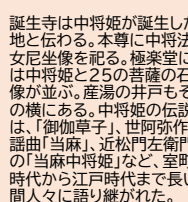
春の桜と秋の萩に囲まれる小さな寺。奈良時代に聖武天皇が光明皇后の病回復を願って建立したと伝えられる。現在は食堂だけが残り、そこに薬師如来像と12神将がそれを取り囲むように立ち並ぶ。その殆どは、天平時代の塑像で、忿怒の表情や、動きの激しい姿が、その場を劇場のようにドラマティックに盛り上げている

奈良町 徳融寺



奈良時代の藤原豊成の住居跡に建立された真言宗の寺。中将姫はその娘としてこの地で育ち、継母に折檻され、西の浄土を求めて尼になり、當麻寺に、向かったという。境内には虚空塚、豊成と中将姫を祀る碑などが残る。

奈良町 誕生寺



誕生寺は中将姫が誕生した地と伝わる。本尊に中将法女尼坐像を祀る。極楽堂には中将姫と25の菩薩の石像が並ぶ。産湯の井戸もその横にある。中将姫の伝説は、「御加草子」、世阿弥作の謡曲「当麻」、近松門左衛門の「当麻中将姫」など、室町時代から江戸時代まで長い間人々に語り継がれた。



ならまち通り

當麻寺



二上山の山麓に7世紀に建立された古刹。二つの塔、本堂の曼陀羅堂、梵鐘などは国宝、その姿は美しい。本堂の本尊「繚れ織り曼陀羅」は中将姫伝説の発祥。出家し尼となった中将姫の前に二人の比丘尼が現れ、蓮花から糸を取り、ともに一夜で曼陀羅を織る。夜明けに二人は去る。阿彌陀如来と観音菩薩であった。それ以後、中将姫は曼陀羅に描かれた浄土を人々に説き、やがてその後を追う

石光寺



當麻寺の近くにある寺。やはり飛鳥時代に創建とされる古寺。境内には中将姫が蓮糸で曼陀羅を編む際に、蓮糸を染めたという「染め井戸」とその糸を干した「糸掛桜」がある。このことから「染め寺」とも呼ばれる。境内には4千本の桜がある。

安倍文珠院



飛鳥時代の地元の豪族、安倍氏が建立した寺。陰陽師(おんみょうじ)安倍清明の自家氏寺。奈良十五大寺のひとつとされていた。本尊は高さ7メートルの文殊菩薩。日本最大の大きさ。'文殊の知恵'を求めて多くの人が集まる。

■ 正倉院展チケットの購入について(ご注意ください)

事前に「前売り日時指定券(2,000円+チケット販売店による手数料550円)」の購入が必要となります。ツアー催行決定後はお客様都合での払戻は一切承ることができません(公演中止・延期・変更などに伴い、公演主催者が払戻し実施を決定した場合のみ、払戻しを行います)また、チケットは日付と時間指定によりそれぞれ枠が設けられ、先着販売となっております。状況により、皆様全員同じ時間枠に入館ができない場合もございます。

■ 1日目 奈良市内での夕食オプションについて

ご宿泊の日航奈良ホテルより徒歩10分にごございます「梁山泊」にて懐石料理をご用意しております。

メニュー(予定): ■前菜 造り ■焚合せ ■焼物 ■油物 ■酢の物 ■飯物 ■水物
お1人様:4,700円(お飲み物は別となります)